

令和 6 年度（2024 年度）事業報告
（令和 5 年 9 月 1 日～令和 6 年 8 月 31 日）

令和 6 年度事業は、当初の事業計画ならびに予算案に基づいて次のように行われた。

創立 100 周年事業の報告

来々 2025 年は、本会の創立 100 周年を迎える年である。執行部役員が中心となりワーキンググループを立ち上げ、さまざまな催しを計画中である。2025 年には大会の中で記念式典、国内外から招聘したノーベル賞受賞者の記念講演、若手発表賞の募集を企画している。今期は出版事業として 100 周年記念サイトを立ち上げた。サイト内では本会の 100 年の沿革、各公益目的事業の内容や歴史を掲載した。

法人事業の報告

1. 会員数の報告

2024 年 8 月 31 日現在の会員数は次のとおりである。

会員数：（ ）は 2023 年 8 月 31 日現在の数

会員種別	医・歯		理		農・工		薬		他		計	
名誉会員－国内	34	(31)	13	(13)	4	(5)	15	(14)	1	(1)	67	(64)
名誉会員－国外									53	(54)	53	(54)
永年会員	6	(5)	4	(4)	1	(1)	3	(3)	0	(0)	14	(13)
評議員	293	(294)	165	(167)	110	(115)	141	(141)	4	(4)	713	(721)
正会員	1,714	(1,723)	1,498	(1,479)	997	(974)	1,115	(1,107)	129	(135)	5,453	(5,418)
学生会員	270	(235)	466	(431)	431	(393)	348	(320)	1	(2)	1,516	(1,381)
小計	2,317	(2,288)	2,146	(2,094)	1,543	(1,488)	1,622	(1,585)	188	(196)	7,816	(7,651)
異動数	29		52		55		37		-8		(前年比)	165)
賛助会員									49口	(51)	41社	(43)
団体会員											115団体	(126)
総計											7,972	(7,820)
											(前年比)	152)

2024 年 8 月 31 日現在 支部別会員数

（ ）は 2023 年 8 月 31 日現在の数

支部名	会員数(名)	%
北海道	211 (199)	2.6%
東北	540 (519)	6.8%
関東	2,974 (2,901)	37.3%
北陸	232 (232)	2.9%
中部	738 (715)	9.3%
近畿	1,532 (1,507)	19.2%
中国四国	625 (650)	7.8%
九州	830 (796)	10.4%
国外他	290 (301)	3.6%
計	7,972 (7,820)	100.0%

2. 会議開催の報告

学会運営のために行われた主な会議の開催状況は以下のとおりである。

理事会 10 月, 4 月, 8 月 3 回

常務理事会 12 月, 4 月 2 回

開催場所：

TKP ガーデンシティ御茶ノ水 (10 月, 12 月, 4 月)

オンライン (8 月)

第 61 回総会

日時：令和 5 年 11 月 1 日

開催場所：福岡国際会議場（第 96 回大会内）

3. 各支部会議開催の報告

北海道支部	1回
東北支部	1回
関東支部	1回
中部支部	1回
北陸支部	1回
近畿支部	1回
中国四国支部	1回
九州支部	1回

4. 委員会活動等の報告

・情報専門委員会

ホームページでは、求人情報・学術集会カレンダー・分科会/大会等からのお知らせなど会員向けの有益な情報について新しい記事を常に掲載した。

また「日本生化学会チャンネル」のバナーでは、大会で行われた5題の講演動画、3題の奨励賞受賞講演を追加公開した。

・研究倫理委員会

日本医学会連合研究倫理委員会との連携を図り、意見書等を提出した。

・日本学術会議、日本学術振興会、日本医師会、日本医学会連合、各機関からの周知など連携および協力をした。

公益目的事業の報告

5. 出版 <公1>

(1) 生化学誌出版

会誌発行状況は以下のとおりである。

※偶数月の隔月発行（6回/年）

上段()内は前期発行 下段()内は第94巻

	総頁	記事数	総説	MR	TN	その他
第95巻5号(10月)～ 第96巻4号(8月) (2023年9月～2024年8月)	918 (857)	151 (150)	47 (48)	63 (60)	2 (4)	39 (39)
第95巻 第1～6号 2023年	861 (939)	150 (155)	43 (50)	66 (58)	2 (7)	39 (40)

支部企画による特集号は好評を博している。

編集企画協力委員には非会員の参画も要請し、幅広い企画の立案に努めている。

電子版の読みやすさは好評で、新刊では毎号フリーアクセスの記事を網羅し、6か月経過後はすべての

記事を誰でも読めるようにしている。

(2) The Journal of Biochemistry (JB) 出版

欧文誌の発行状況は以下のとおりである。

上段()内は前期発行 下段()内はVol. 171, 172

	Pages	No. Paper	Reg. P	Comm- mun.	Rev/ Minirev.	Ref. & Others
Vol. 174:3～176:2 (Sep. 2023～ Aug. 2024)	1,199 (977)	121 (108)	75 (62)	3 (3)	32 (19)	11 (24)
Vol. 173, 174 2023	1,061 (1086)	103 (133)	69 (74)	2 (3)	22 (21)	10 (35)

2023年のImpact Factor（2024年発表）は2.1であった。

海外を含む一般にも広く投稿を呼びかけ、優秀な論文に与えられる「JB論文賞」を設け、大会開催時にはその授賞式およびシンポジウムを開催しJBへ投稿、周知をはかった。

JB編集委員会により設けられた査読者を顕彰する審査員賞を付与した。

・JB審査員賞（第4回）

徳永 文稔, 山本 林, 伊藤 拓宏, 松沢 健司,
野田 展生, 山下 俊一

(3) 各月の発行状況は以下のとおりである。

	生化学	JB
個人会員	337	19
団体会員	123	39
賛助会員	44	44
書店等販売	94	17
贈呈	116	152
その他	186	79
計	900	350

6. 学術集会 <公2>

(1) 第96回生化学会大会開催の報告

日時：令和5年10月31日～11月2日

場所：福岡国際会議場・マリンメッセ福岡B館

会頭：住本 英樹

特別講演 6, シンポジウム 111,

一般演題 1,365 (内 Late-breaking Abstracts 66),

バイオインダストリーセミナー1,

ショートルランチョンセミナー2

参加登録者数：3,048名 (内 学生 1,034名)

(2) ダイバーシティ推進委員会活動報告

第 96 回大会時にワークショップ「挑戦する心を雑多な「御役目」から守る方法」を企画，開催した。
また，男女共同参画学協会連絡会では正式加盟学協会として定期的に運営委員会に出席している。

(3) 各支部の例会・シンポジウム開催の報告

各支部における学術活動は活発であり，下記の通り例会を開催した。

北海道支部「第 61 回北海道支部例会・シンポジウム」	(7 月)
東北支部「東北支部 第 90 回例会・シンポジウム」	(5-6 月)
関東支部「2024 年度 関東支部例会」	(6 月)
北陸支部「北陸支部第 42 回大会・シンポジウム」	(6 月)
中部支部「第 88 回中部支部例会・シンポジウム」	(5 月)
近畿支部「2024 年度 第 70 回近畿支部例会・シンポジウム」	(5 月)
中国四国支部「第 65 回中国四国支部例会」	(6 月)
九州支部「令和 6 年度九州支部例会」	(6 月)

(4) 国際会議等への補助金拠出，共催開催の報告

・第 22 回バイオフィロンティアシンポジウムとして以下の国際会議を予定した。

「The 18th International Zebrafish Conference (IZFC2024)」

日程：2024 年 8 月 17 日～21 日

開催都市：京都市

「第 12 回 3R+3C 国際シンポジウム (The 12th 3R+3C International Symposium)」

日程：2024 年 11 月 18 日～22 日

開催都市：福岡市

・FAOBMB 関連

FAOBMB の Past-President として菊池章が引き続き Executive メンバーとして貢献した。

・IUBMB 関連

Travel Fellowship などでの活動支援をした。

・生化学若い研究者の会への支援をおこなった。

「第 64 回生命科学夏の学校」

7. 表彰・助成 <公 3>

(1) 表彰・奨励

2024 年度奨励賞，JB 論文賞，柿内三郎記念賞および柿内三郎記念奨励研究賞の募集をおこない，各種授賞等選考委員会による選考を行った。

受賞者は以下のとおりである。

・日本生化学会奨励賞

小坂田 拓哉，畠 星治，貝塚 剛志，渡邊 謙吾，清水 隆之

・JB 論文賞 (第 32 回)

笠井 郁也 他 6 名，吉田 涼希 他 3 名，奥村 航 他 9 名，

Carlos Ichiro Kasano-Camones 他 13 名，

平野 泰弘 他 5 名，Shu-Ya Cao 他 4 名，

Riko Irikura 他 8 名，矢内 太朗 他 13 名，

Anisa Fitri Rahayu 他 5 名

・柿内三郎記念賞 (第 19 回)

小松 雅明

・柿内三郎記念奨励研究賞 (第 21 回)

竹田 弘法，平池 勇雄

その他財団等へ学会推薦を行った。

(2) 助成

「早石修記念海外留学助成」の募集を行い，留学助成審査委員会による選考を行った。採択者は以下のとおりである。

第 8 回 2024 年度採択者

平田 哲也，半谷 匠，平野 里奈，伏屋 康寛，桑原 嵩佳

2025 年度「早石修記念海外留学助成」の募集を行った。

以下余白